

FLAMMA

FX150 FX150

GUITAR MULTI-EFFECTS
取扱説明書



正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら

<https://quanta-intl.jp/support/>

注意事項

電源について

電源アダプターの接続には、正しいACコンセントをご使用ください。

電源アダプターは9V (センターマイナス) をご使用ください。内部マイナス、外部プラス、電流1A以上の電源アダプターを使用してください。これを怠ると、機器の損傷、火災、その他の問題が発生します。使用しないときや雷雨のときは、電源プラグを抜いてください。

コネクション

本装置を接続または取り外す前に、必ず電源や他の機器のスイッチを切ってください。

またデバイスを移動する前には、必ずすべての接続と電源ケーブルを外してください。

重要な安全上のご注意

- 以下の説明をお読みください。
- これらの指示を保管してください。
- すべての警告に耳を傾ける
- すべての指示に従う
- 本装置を水の近くで使用しないでください
- 乾いた布のみで拭いてください。
- 干渉を避けるため、ラジオやテレビなど磁界を発生する機器から離れた場所で使用してください。
- スイッチやコントロールを無理に使用しないでください。
- 紙、金属、その他の物を機械に落下させないでください。
- 本機を落としたり、衝撃や過度の圧力を加えたりしないでください。

FCC認証

本装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作は以下の2つの条件に従います：

- 本装置は有害な干渉を引き起こさない
- このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければなりません。

特徴

- 高品質の5インチLCDタッチスクリーン。
- プリセットとギター・エフェクトをコントロールする3つのフットスイッチ。
- 10種類のエフェクト・モジュール、合計160種類のエフェクト。
- 最大180のユーザー・プリセット・スロットを編集可能。
- 編集可能なエフェクト・チェーンにより、モジュールの順番を変更可能。スタジオ、ステージ、練習に柔軟に対応する広範なI/O。様々な状況に対応する2種類のフットスイッチ・コントロール・モード。
- 本物の真空管アンプのフィーリングを再現する、ノンリニア・サンプル・モデリング・テクノロジーに基づく高品質リアンプ・モデル。
- 30種類の高品質キャビネット・シミュレーション (1024pts)、サードパーティ製インパルス応答ファイルの読み込みに対応。
- グローバルEQは、様々なオーディオ・セットアップに応じて音色を素早く調整することができます。
- 内蔵52秒ルーパーは、プリ・モードまたはポスト・モードに設定可能。
- 80種類のドラムマシン・バリエーションと10種類のメトロノーム・スタイルから選択可能。
- CTRLフットスイッチにより、対応するフットスイッチをオン/オフ・スイッチまたはタップ・テンポ・スイッチとして設定できる。
- ディレイ/リバーブが自然にフェードアウトするスプillover機能。
- プリセット管理とファームウェア・アップデートのための専用エディター・ソフトウェアによるUSBオーディオ・レコーディングに対応。

仕様

エフェクト		インパルス・レスポンス		その他	
エフェクトモジュール数	10	ファイル形式	.WAV	寸法	150x273x56mm
エフェクト数	160	サンプルレート	44.1kHz※	重量	Fx150:1345g、Fx150b:1500g
プリセットパッチ数	180	サンプルの精度	24 bit※	アクセサリ	電源アダプター、USB接続ケーブル、製品クイックガイド
		サンプルポイント	1024点		

※FX150エディターソフトウェアが自動的にサンプルレートを転送します

ハードウェア

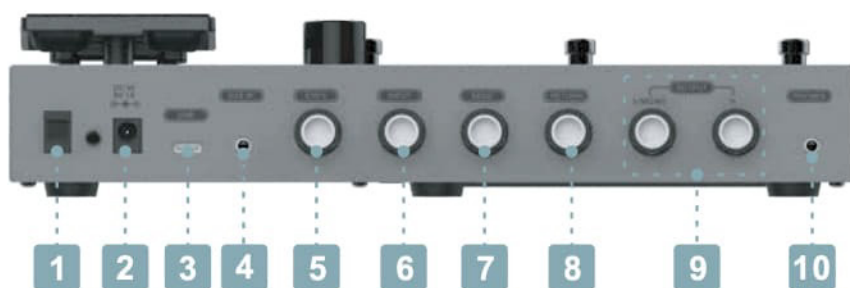
AUX IN	1*1/8 "アンバランス・ステレオ入力ジャック (インピーダンス値47kΩ)
EXP 2	1*1/4 "TRSジャック (インピーダンス値10kΩ)
INPUT	1*1/4 "アンバランス・モノラル入力ジャック (インピーダンス値1MΩ)
SEND	1*1/4 "アンバランス・モノ出力ジャック (インピーダンス値510Ω)
RETURN	1*1/4 "アンバランス・モノラル入力ジャック (インピーダンス値1MΩ)
OUTPUT	2*1/4 "アンバランス・モノ出力ジャック (インピーダンス値 600Ω)
PHONES	1*1/8 "ステレオ出力ジャック (インピーダンス値47Ω)
USB	1*USB TYPE-Cポート (データ転送およびUSBオーディオ用)
DC IN	DC 9V 1A、センターマイナス
バッテリー容量 (FX150b)	3000mA
持続時間 (FX150b)	約5時間
充電時間 (FX150b)	約2時間半
SNR	A/Dコンバーター 24ビット 112 dB; D/Aコンバーター 24ビット 110 dB

トップパネル



1. **Chromatic touch screen** : ペダルの状態や詳細情報を表示します。
2. **MASTER** : 6.35mm出力、XLR出力、ヘッドフォン出力の音量レベルをコントロール。
3. **VALUE** : 回転させるか、または押すと、ナビゲートしてオプションから選択できます。プリセットの選択、モジュールのオン/オフ、モジュールの移動、パラメーターの編集に使用できます。
4. **EXP** : エクスプレッション・ペダルのLEDインジケーターで、オン/オフの状態を表示します。エクスプレッション・ペダルを押すと、オン/オフが切り替わります。
5. **A/B/Cフットスイッチ** : A+Bを同時に押すか、B+Cを同時に押すと、プリセット・バンク間を上下にスクロールします。A+BまたはB+Cフットスイッチを同時に2秒間押し続けると、TUNERまたはLOOPERモジュールに入ります。
6. **Expression Pedal** : エクスプレッション・ペダルをボリューム・ペダルやワウ・ペダルとして設定したり、他のパラメーターをコントロールすることができます。

インターフェースパネル

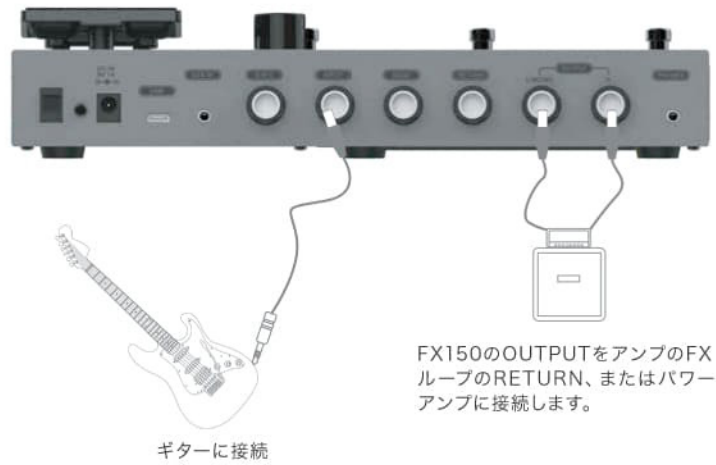


1. **電源スイッチ** : デバイスの On/Off を切り替える。
2. **DC IN** : 電源ポートは、オリジナルの電源を使用することをお勧めします。
3. **USB** : Type-C USBポート。コンピュータに接続してプリセット管理、IRファイルのインポート、ファームウェアアップデート、オーディオインターフェースとして使用できます。
4. **AUX IN** : 1/4 "ステレオ・オーディオ入力ジャック、外部エクスプレッション・ペダルに接続 (注意: 1/4 "TRSケーブルを使用してください。)
5. **EXP2** : 1/4 "モノラル・オーディオ入力ジャック、ギターまたは他のペダルの出力に接続。
6. **INPUT** : FX LOOPの1/4 "モノラル・オーディオ出力端子、外部ペダルの入力端子に接続するか、4ケーブルメソッドの場合はアンプの入力
7. **SEND** : 端子に接続する。
8. **RETURN** : FX LOOPの1/4 "モノラル・オーディオ入力端子、外部ペダルの出力端子に接続するか、4ケーブルメソッドの場合はアンプのSENDに接続する。
9. **OUTPUT** : アンバランス信号用1/4 "ステレオ音声出力ジャック、モノラル音声セットアップ用L(MONO)に接続してください。
10. **PHONES** : 1/8 "ステレオヘッドホン出力。

推奨セットアップ

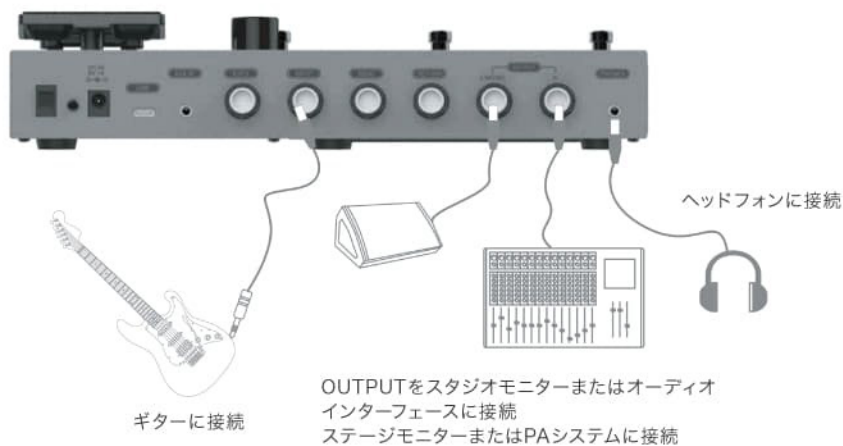
POWER AMP + Cabinetへの接続

このセットアップでは、FX LOOP内蔵アンプ、または個別のパワーアンプ・セクションを使用します。最良の結果を得るためには、AMPモジュールをオンにすることをお勧めします。



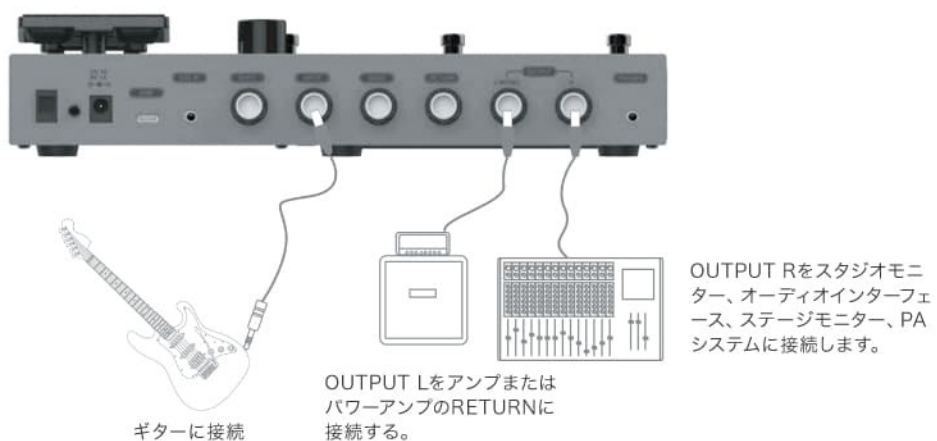
FRFR デバイスへの接続

このセットアップは、オーディオ・インターフェイス、パワード・ステージ・スピーカー、PAシステム、スタジオ・スピーカー、ヘッドフォン、その他のFRFR（フルレンジ、フラット・レスポンス）機器に使用できます。最良の結果を得るために、AMPモジュールとCABモジュールをオンにすることをお勧めします。



FRFRデバイス + アンプへの接続

FRFRデバイスとアンプで使用する場合、編集ページの アイコンをクリックして、SYSTEM-GLOBAL CAB メニューに入り、アンプのキャビネットが接続されている場合は出力信号のキャブシムをオフにし、キャビネットが接続されていない場合は出力信号のキャブシムをオンにしてください。



推奨セットアップ

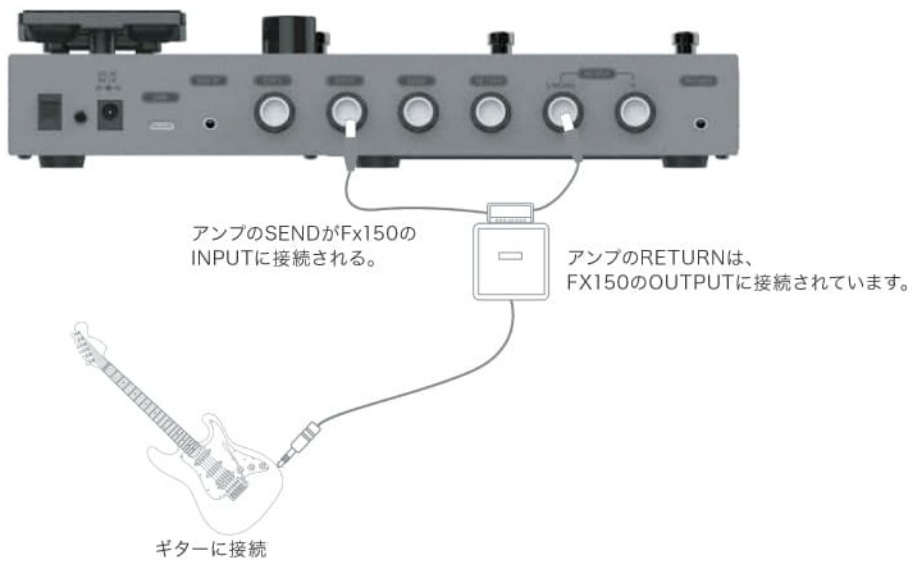
アンプへの接続

FX150をアンプの入力に直接接続し、アンプ前のプリペダルとして使用します。アンプにFX LOOPが搭載されていない場合は、このセットアップを使用することをお勧めします。アンプの信号がプリアンプとキャビネットを通過するため、AMPとCABモジュールの電源を切ります。



FX LOOPへの接続

このセットアップでは、FX150をアンプのFX LOOPのポスト・ペダルとして使用します。FX150のエフェクトは、アンプのプリアンプとパワーアンプの間に置かれます。AMPとCABモジュールの電源を切ることをお勧めします。

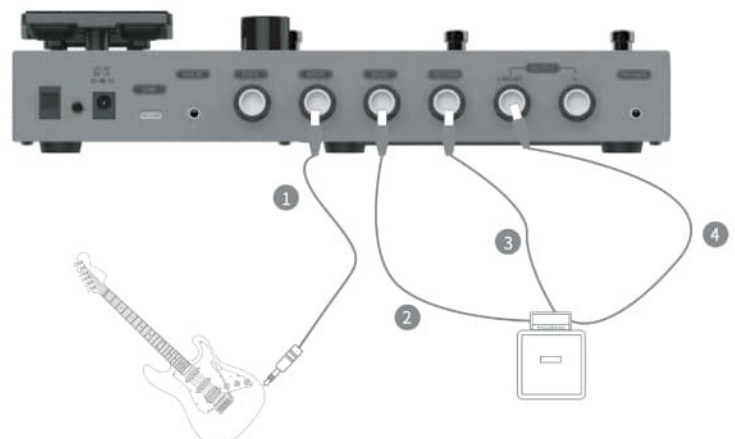


4ケーブルメソッド

FX150にはFX LOOPが内蔵されているので、4ケーブルメソッドでアンプと組み合わせて使用することができます。FX150のエフェクトは、プリペダルとポストペダルの役割を果たします。以下の手順に従って設定してください：

1. FX150のFX LOOPの電源を入れ、SERIALモードにします。
2. 予期せぬ結果を防ぐため、AMP と CAB モジュールの電源を切ります。
3. モジュールを選択し、FX LOOPの前後に配置するように順番を変更します。

1. ギターとの接続
2. FX150のSENDは、アンプのINPUTに接続します。
3. FX150のRETURNは、アンプのSENDに接続します。
4. FX150のOUTPUTはアンプのRETURNに接続されています。



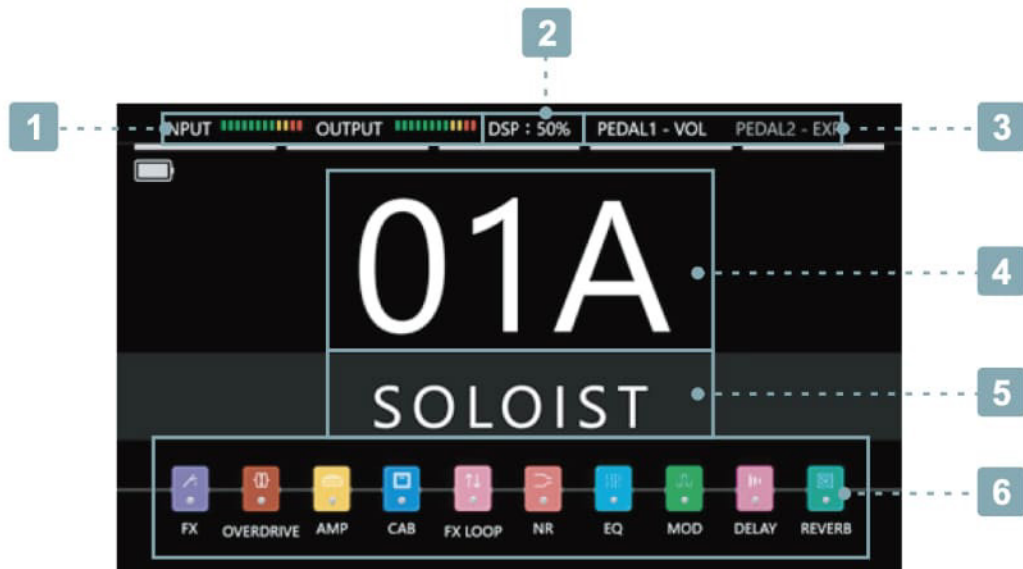
クイックツアー

起動

- あなたの状況に応じて、上記の推奨セットアップに従って接続をセットアップしてください。
- MASTERノブを最小値まで回します。
- 電源コードを差し込み、電源スイッチを押してオンにする；
- FX150が正常に起動したら、MASTERノブを回して音量レベルを調整します。

ホーム

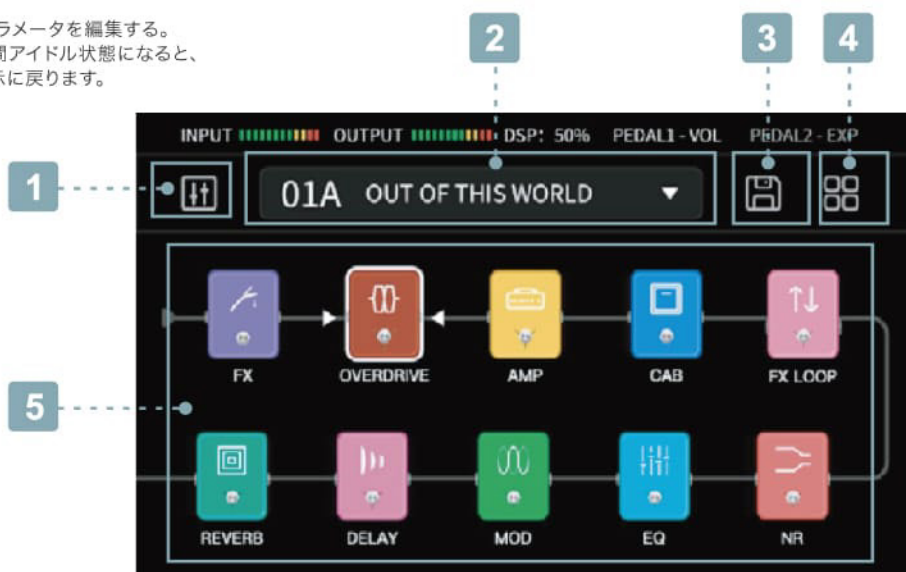
起動後のホーム表示



1. 入力レベルインジケータ
2. DSPソース表示。現在のDSP使用量を示す。
3. エクスプレッション・ペダルの表示。
4. PEDAL 1 (内部ペダル) とPEDAL 2 (外部ペダル) の現在の機能を表示します。
5. 現在選択されているプリセットパッチの番号。
6. 現在選択されているプリセット・パッチの名前 エフェクト・チェーン

インターフェース

画面をタッチしてパラメータを編集する。
編集ページが10秒間アイドル状態になると、
FX150はホーム表示に戻ります。



1. クイック設定メニュー
2. プリセットパッチリスト
3. プリセット保存ボタン
4. 設定メニュー
5. 現在選択されているプリセット・パッチのエフェクト・チェーン

クイックツアー

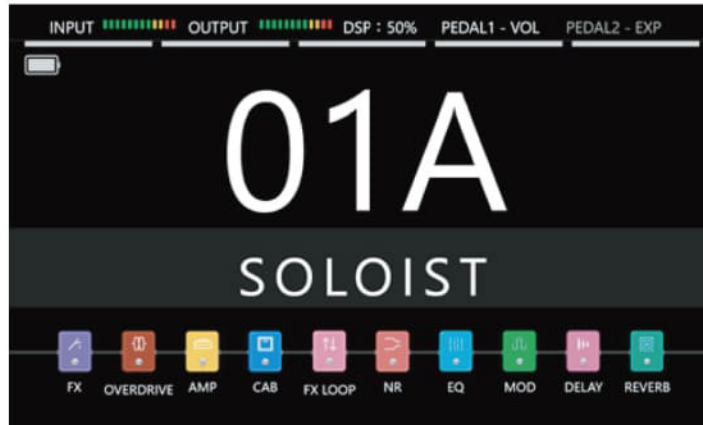
プリセットトーンを選択

FX150には10種類のエフェクト・モジュールが搭載されています。エフェクト・チェーンの順序の調整、モジュール・タイプの変更、パラメーターの編集、エクスプレッション・ペダルのコントロール、CTRL機能のカスタマイズ、設定をプリセット・パッチとして保存して使用することができます。60のプリセット・バンクがあり、各バンクに3つのプリセット・パッチ、合計180のプリセット・パッチが用意されています。

プリセット・パッチは以下の方法で調整できます：

ノブ

VALUEを回してプリセット・パッチを切り替える。



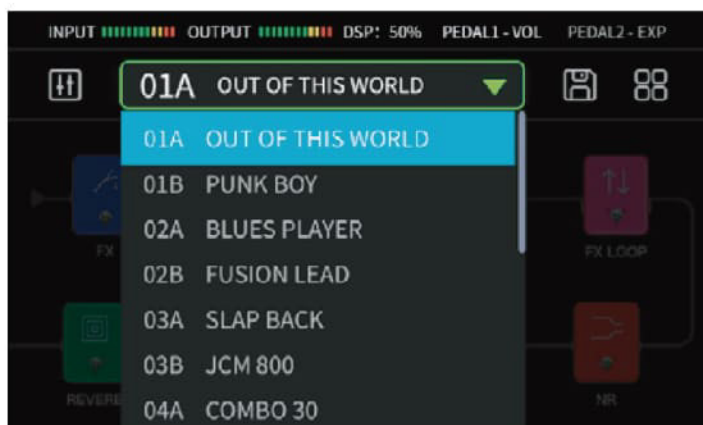
フットスイッチ

NORMALモードでは、A+BまたはB+Cフットスイッチを同時に押して、プリセット・パッチを選択します。ピンクのカーソルは現在選択されているプリセット・パッチを示します。青くハイライトされたプリセット・バンクが現在選択されているバンクです。バンク選択後、フットスイッチA、フットスイッチBまたはフットスイッチCを押すと、現在のバンクからプリセット・パッチを選択し、プリセット・モードを終了します。フットスイッチA、フットスイッチB、フットスイッチCを直接押すことで、同じバンク内の2つのプリセット・パッチを切り替えることができます。



プリセットリスト

ホームページのプリセット名をクリックすると、プリセットのドロップダウンリストが開き、上下にスクロールするか、VALUEを回してプリセットを選択します。



クイックツアー

プリセット編集

On/Off

編集ページで、クリックしてモジュールを選択し、VALUEを押すか、パラメータページの電源スイッチアイコンをクリックして、現在のモジュールをオン/オフする。

パラメーター編集

編集ページで、モジュールをクリックして選択し、モジュールをもう一度クリックしてパラメータ編集メニューに入る。

パラメータページで、電源スイッチをクリックして、現在のモジュールの電源をオン/オフします。

モジュールタイプをクリックしてドロップダウンメニューを開き、上下にスクロールするか、VALUEを回してモジュールタイプを選択します。

パラメータエリアをクリック&ドラッグして値を調整するか、VALUEを回転させて調整することができます。

右上の「x」をクリックしてパラメータ編集ページを終了します。



エフェクトチェイン

編集ページで、クリックしてモジュールを選択し、VALUEノブを回して順番を調整します。

注釈

1.エフェクト・チェーンの順番を変更する場合は、手動で保存する必要があります。

2.GLOBAL CABのLEFTとRIGHTの設定が異なる場合、CABモジュールは以下のようになる。をエフェクト・チェーンの最後に配置する。

プリセット

プリセットの編集が終わったら、右隅のSAVEアイコンをクリックして、プリセット保存画面に入ります。

左上のプリセット番号をクリックしてプリセットリストを開き、上下にスクロールするか、VALUEを回して保存するプリセットスロットを選択します。

プリセットの名前を変更できます。15文字までサポートします。OKをクリックして保存を確定し、編集ページに戻ります。また、右上の「x」をクリックして保存をキャンセルし、編集ページに戻ることもできます。



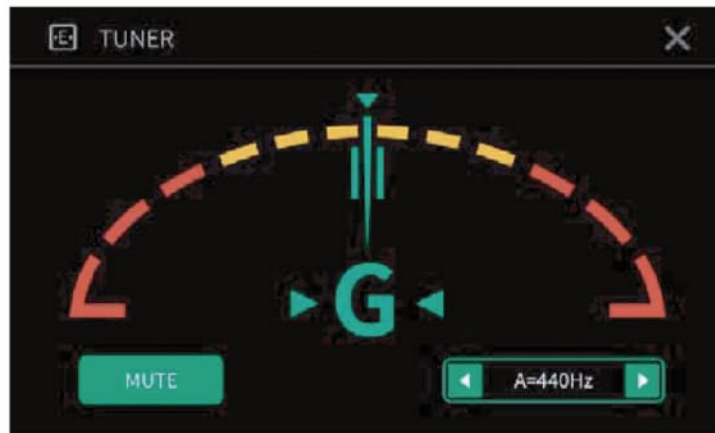
チューナー

A+Bフットスイッチを同時に押し続け、TUNERページに入る。

音符を弾くと、スクリーンに現在の音名とピッチが表示されます。カーソルは、チューニングの目標を示す中央の位置に留まります。

左下のMUTEをクリックすると、MUTEとBYPASSが切り替わります。デフォルトではMUTEに設定されています。

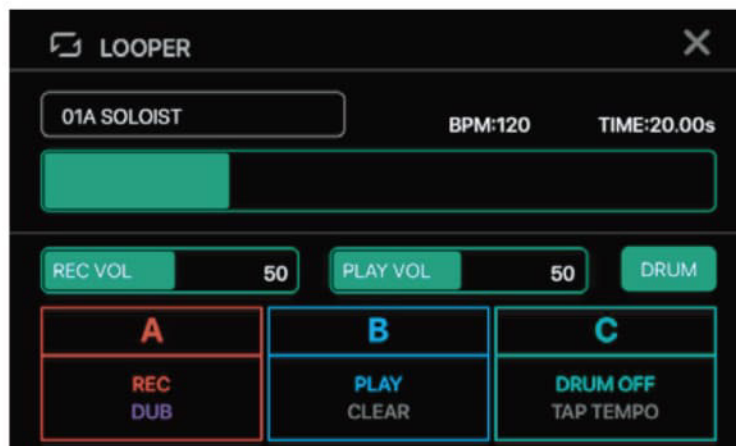
右下の矢印アイコンをクリックして周波数を調整します。デフォルトでは440Hzに設定されています。435Hzから445Hzまで調整できます。



LOOPER

FX150には52秒のステレオ・ルーパーが内蔵されています。B+Cフットスイッチを2秒間押し続けると、ルーパー機能に入ります。

1. 左上のプリセット名をクリックし、VALUEを回してプリセット音色を選択します。
2. REC VOLをクリック&ドラッグするか、VALUEで回転させて録音音量レベルを調整します。
3. PLAY VOLをクリック&ドラッグするか、VALUEで回転させて再生音量レベルを調整します。



ルーパーが空になったら、フットスイッチAを押して最初のレイヤーの録音を開始します。フットスイッチLEDインジケータはREDのまま、スクリーンにRECがハイライト表示され、プログレスバーとタイマーがスタートします。RECモードでフットスイッチAを押し、別のレイヤーをダビングします。フットスイッチLEDインジケータが紫色に変わり、スクリーンにDUBがハイライト表示されます。プログレスバーが紫色で表示されます。

RECまたはDUBモードで、フットスイッチBを押してPLAYを開始します。フットスイッチLEDインジケータが青色に点灯します。スクリーンにPLAYがハイライト表示され、プログレスバーが青色で表示されます。フットスイッチBをもう一度押して再生をSTOPにすると、フットスイッチLEDインジケータがYELLOWで点滅し、画面上でSTOPが強調表示されます。プログレスバーとタイマーはクリアされます。

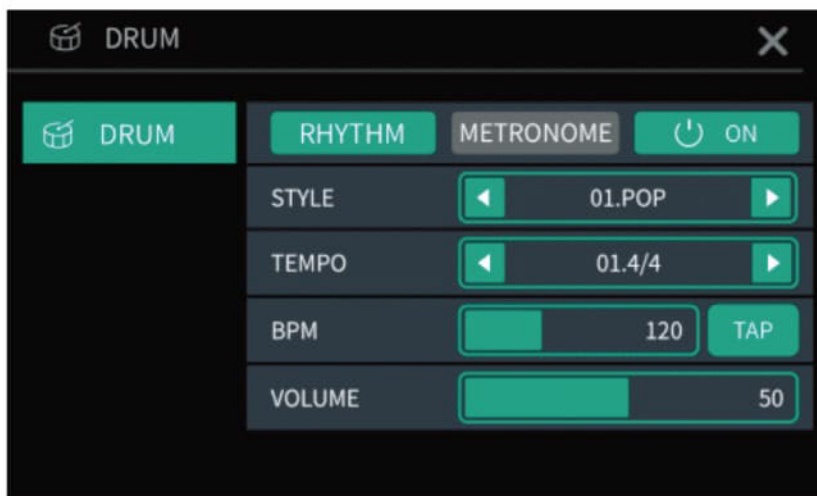
フットスイッチBを2秒間押し続けると、録音されたトラックがすべてクリアされます。クリア後、フットスイッチのLEDインジケータが白色に点灯し、スクリーンにCLEARが強調表示されます。

注釈

- 1.録音容量がいっぱいになると(52秒)、ルーパーは録音を停止し、自動的にPLAYに切り替わります。
- 2.FX150の電源を切ると、ルーパー・データはクリアされます。
- 3.MENU-SYSTEM-LOOPERでルーパーのモードを設定できます。ルーパーをエフェクト・チェーンの最初のポジションに配置し、パラメーター調整のためにドライ・ギター信号を録音できるPREモード、またはルーパーをエフェクト・チェーンの最後のポジションに配置し、エフェクトの調整が録音信号の再生に影響しないPOSTモード。

ドラム

FX150には8種類のドラム・グループ・スタイルがあります。各スタイルには10種類のリズム・タイプがあります。ルーバー・メニューでフットスイッチCを押してドラムマシンのオン/オフを切り替えます。フットスイッチLEDインジケーターが青色に点灯します。フットスイッチCを2秒間押し続け、TAP TEMPOモードに入ります。フットスイッチLEDインジケーターが緑色に点滅します。このモードでフットスイッチを2回以上押し、ドラムマシンのスピードを設定します。BPM値と点滅の速度が現在の演奏速度を示します。



このページで、RHYTHM または METRONOME を押して選択します。
電源スイッチアイコンを押して、ドラムマシンまたはメトロノームをオン/オフする（フットスイッチCを押すのと同じ）。

STYLE	ドラムマシンのスタイルを選択します。左右の矢印をクリックするか、VALUEを回してスタイルを選択します。
TEMPO	ドラム・マシンまたはメトロノームのリズム・タイプを選択します。
BPM	ドラムマシンまたはメトロノームの演奏速度を設定します。押してドラッグするか、VALUEを回してスピードを調整します。TAP TEMPOでスピードを設定する場合は、TAPアイコンをクリックします（TAP TEMPO経由でフットスイッチCを押すのと同じです）。
VOLUME	ドラムマシンまたはメトロノームの音量レベルを調整します。VALUEを押しながらドラッグするか、回転させて音量レベルを調整します。デフォルトでは50に設定されており、0～100の範囲で調整できます。

右上の「x」をクリックしてルーバーのページに戻ります。

LOOPER & DRUM

FX150は、練習やレコーディングのためにDRUMとLOOPERを同時にオンにすることができます。録音したトラックをドラム・マシンと同期させるには、以下の手順に従ってください。ドラムマシンをオンにし、リズムタイプを選択します；

ルーバーのページで録音を開始すると、ドラムマシンが再起動し、ルーバーと同期します。

小節の終わりあたりでPLAYまたはDUBを行うと、ルーバーがドラムマシンと同期してプレイする。

現在の小節の 1/2 未満のときに PLAY または DUB を行うと、ドラムマシンとルーバーは最初から再スタートします。

録音されたトラックの最後の小節は削除されます。

現在の小節の1/2以上の時にPLAYまたはDUBを行うと、現在の小節が終了するまで録音が続く、その後PLAYまたはDUBが開始されます。

ルーバーを停止してからPLAYすると、ドラムマシンはルーバーと同期して最初からスタートします。

例えばリズムは4/4に設定されています。ドラムマシンをオンにします。3小節目の1拍目からRECを開始し、PLAYまたはDUBを押すと、ルーバーとドラムマシンが最初から再開され、3小節目の1拍目が削除されます。したがって、録音されるのは2小節だけです。

小節目の3拍目でPLAYまたはDUBを押すと、ルーバーは3小節目が終わるまで録音を続け、その後PLAYまたはDUBを押します。

したがって、この3小節は完全に録音されます

シンク機能は以下の状況には対応していません

- 1.ドラムマシンの電源を入れる前に、ルーバーはすでに録音中です。
- 2.ドラムマシンがルーバーと同期すると、ドラムマシンのスピードが変化する。
- 3.ドラムマシンがルーバーと同期すると、ドラムマシンのスタイルやリズムタイプが変更されます。

FX LOOP

FX150にはFX LOOPが内蔵されており、外部ペダルや4ケーブルメソッドで接続することができます。編集ページでFX LOOPモジュールを選択し、クリックしてパラメーター・ページに入ります



電源スイッチアイコンをクリックしてFX LOOPモジュールの電源をオン/オフします。クリックすると、シリアルまたはパラレルモードが選択されます。SEND LEVELをクリック&ドラッグして、FX LOOPの出力音量レベルを調整します。

-60dBから6dB。デフォルトでは0dBに設定されています。

RETURN LEVELをクリックしてドラッグし、FX LOOPの入力ボリューム・レベルを調整します。

-60dBから6dB。デフォルトでは0dBに設定されています。

PARALLELモードでは、MIXを調整し、内部信号と外部信号のミックス率を設定します。(内部信号と外部信号の音量レベルは同じです)。

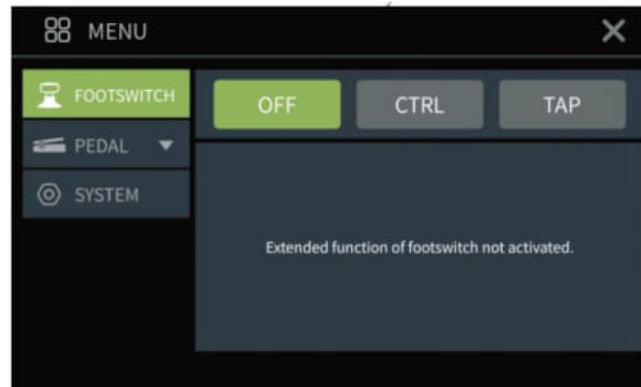
他のモジュールと同様に、エフェクト・チェーン内のFX LOOPの位置を変更することができます。FX LOOPモジュールを選択し、VALUEを回して位置を変更します。



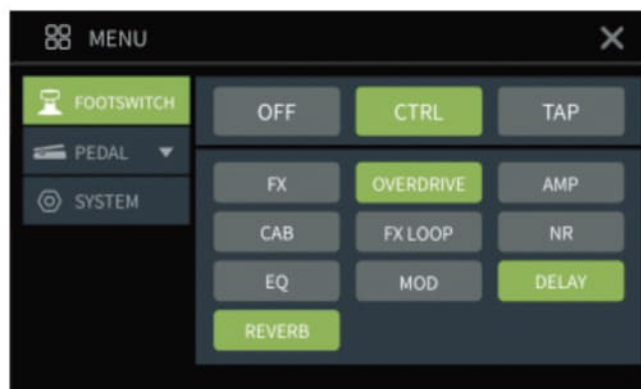
FOOTSWITCH

フットスイッチの機能を拡張し、フットスイッチでより多くのパラメーター/機能をコントロールできるようにすることができます。右上のアイコンをクリックしてMENUページに入ります。FOOTSWITCHを選択して設定します。OFF、CTRL、TAPから選択できる。

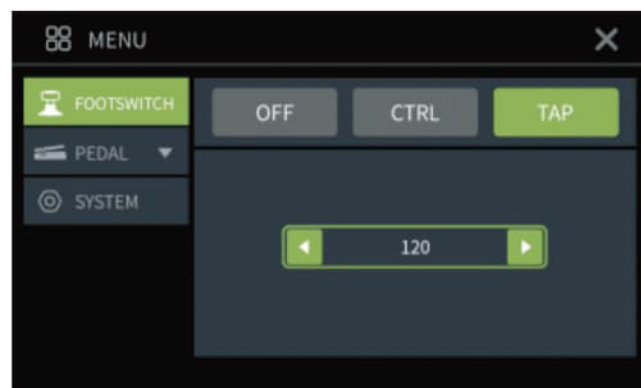
OFF フットスイッチの拡張機能をオフにします。フットスイッチを押してもCTRLまたはTAP機能は作動しません。フットスイッチLEDインジケータは緑色のままです。



CTRL フットスイッチをCTRL機能に設定する場合に選択します。以下のモジュールを選択して設定します。選択されたものがハイライトされます。次に、現在選択されているプリセットのフットスイッチを押して、モジュールのオン/オフを切り替えることができます。フットスイッチのLEDインジケータが青と紫に切り替わり、モジュールのオン/オフを示します



TAP フットスイッチをTAMP TEMPOファンクションとして設定し、ディレイ効果のスピードを設定することができます。フットスイッチLEDインジケータがREDに点滅します。フットスイッチを2回以上押して、ディレイタイムを設定します。矢印アイコンをクリックするか、VALUEを回してディレイ・タイムを正確に調整します。下の数字はBPM値を表します。フットスイッチのLEDインジケータは、現在のスピードに応じて点滅します。



注釈

1. CTRLとTAPの設定は、変更後に現在のプリセット・パッチに保存する必要があります。
2. プリセットされたフットスイッチを長押しすることで、CTRLとTAPの切り替えが可能。
3. TAP機能を使用する前に、DELAYエフェクトのSUB-D機能をオンにしてください。

ペダル

FX150にはペダルが内蔵されており、EXP2インプットを介して外部ペダルを接続して使用することも可能です。接続には1/4インチTRSケーブルの使用を推奨します。MENU ページで PEDAL を選択し、ペダルを設定します。内部ペダルはPEDAL 1、外部ペダルはPEDAL 2です。

EXPRESSION エクスプレッション・ペダルを使って、1つのパラメーターまたは複数のパラメーターを同時にコントロールすることができます。



内部ペダルを設定します

左側のエリアでPEDAL 1を選択し、上部のEXPRESSIONを選択すると、EXPのLEDインジケーターが点灯します。モジュール、パラメーター、コントロールしたい範囲を選択します。設定が完了すると、パラメータがハイライト表示され、外部エクスプレッション・ペダルを動かしてパラメータをコントロールできるようになります。

外部ペダルを設定します

PEDAL 2のエクスプレッション・ペダル設定はPEDAL 1と同じ。

エクスプレッション・ペダルでコントロールされているパラメーターをキャンセルしたい場合は、クリックしてパラメーターを選択し、DELETEをクリックしてキャンセルします。パラメータはハイライトされなくなります。

WAH

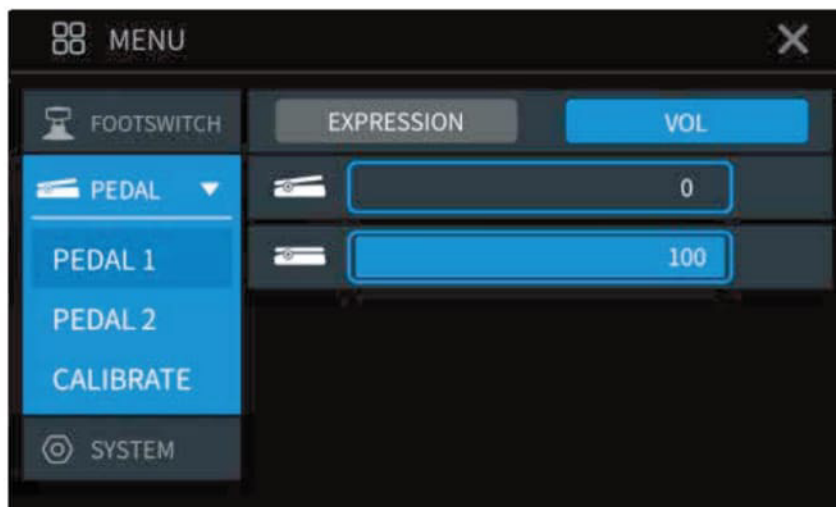
編集画面でFXを選択し、95 CRYまたは535 CRYモジュールを選択する。EXPRESSIONを選択し、FXに設定し、POSITIONを選択します。このモードでは、エクスプレッション・ペダルを強く踏んでオン/オフすることができます。

注意事項

エクスプレッション・ペダルの設定変更は手動で保存する必要があります。

VOLUME

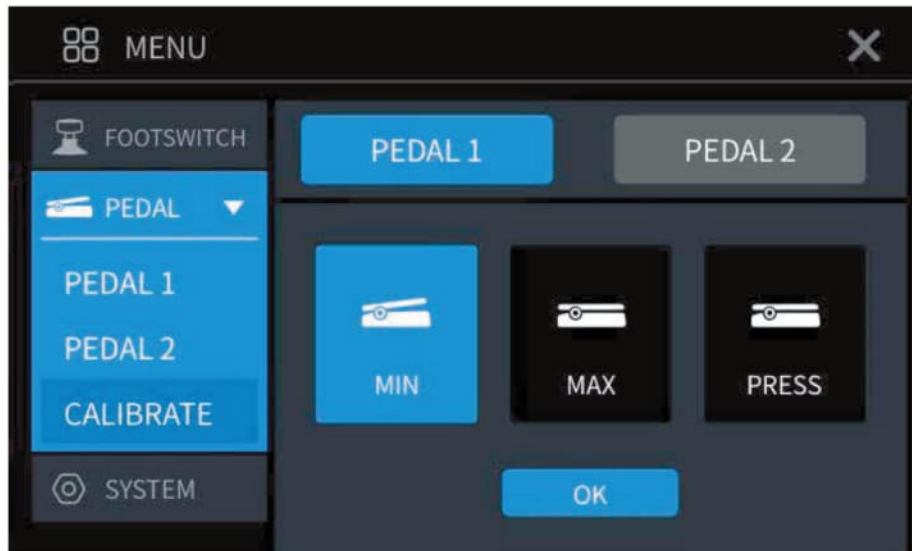
内蔵ペダルをボリューム・ペダルとして設定します。マスター出力の音量レベルを内蔵ペダルでコントロールできます。



PEDAL を選択し、VOL を選択します。EXPのLEDランプが消灯します。最小値と最大値を設定できます。0は出力信号オン、100は最大音量レベルです。注意事項EXP LEDインジケーターがOnの時、ペダルはエクスプレッション・ペダルとして動作します。EXP LEDインジケーターがOffの場合は、ボリューム・レベル・ペダルとして動作します。

ペダル

キャリブレーション 初めて使用する前に、ペダルのキャリブレーションを行ってください。ペダルが正しく動作しない場合は、再度キャリブレーションを行ってください。



CALIBRATE (キャリブレーション) を選択します。PEDAL 1 (内部ペダル)、PEDAL 2 (外部ペダル) から校正を選択します。

MIN: 最小ポジションを設定します。MINをクリックして選択し、ペダルをヒールダウン位置まで動かします。

MAX: 最大ポジションを設定します。クリックしてMAXを選択し、ペダルをつま先下がりの位置に動かします。PRESSペダルを踏み込む圧力を設定します。PRESSをクリックして選択し、お好みに合わせてペダルを大きく踏み込みます。

OKをクリックしてキャリブレーションを終了します。キャリブレーションに成功すると "Pedal setting completes" と表示されます。失敗した場合は "Please set again" と表示されますので、上記の手順で再度キャリブレーションを行ってください。

システム

MENU ページで SYSTEM を選択し、システム設定メニューに入ります。このメニューでは、グローバル設定を調整することができます。下の矢印をクリックするとページがスクロールします。



明るさ ディスプレイの明るさを調整します。デフォルトでは100に設定されています。



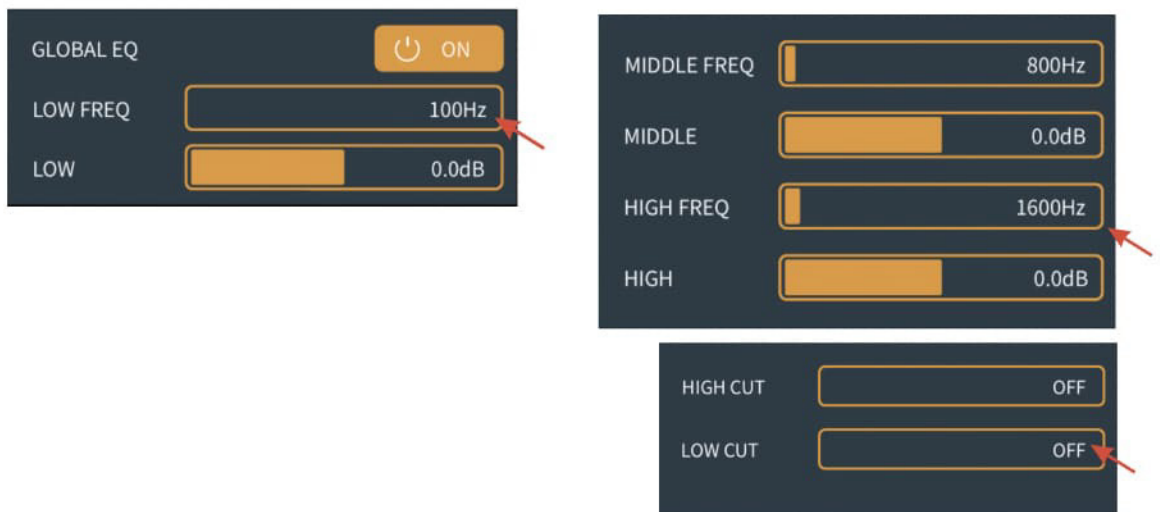
入力レベル グローバル入力レベルを-60dBから+6dBの範囲で調整します。デフォルトでは0に設定されています（エンハンスメントやダンピングなし）。



GLOBAL EQ 全出力（OUTPUT/XLR OUT/PHONES）共通のグローバルEQ設定。状況に応じて素早く音色を調整できます。

電源スイッチアイコンをクリックしてオンにします。3つのバンドは同じレンジです：40～20000Hz、GAINレンジは-12dB～12dBです。

HIGH CUTはオン/オフでき、範囲は20000-3000Hz、デフォルトではオフに設定されている。LOW CUTはオン/オフでき、範囲は40-1000Hz。デフォルトではオフに設定されています。

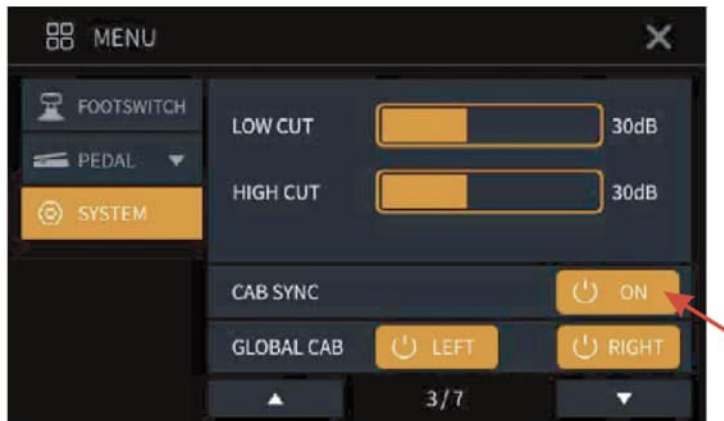


注意事項：グローバルEQがオフの場合、パラメーターの調整はできません。

システム

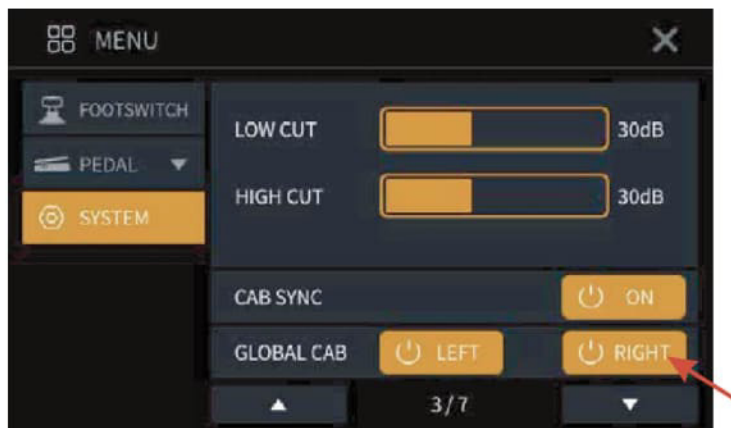
キャブ・シンク

CAB SYNC を押すと、AMP モジュールと CAB モジュールの SYNC 機能が切り替わります。これがオンの場合、パラメーター・ページで別のアンプ・モデルに切り替えると、キャビネット・シミュレーションは対応する選択に切り替わり、現在選択されているアンプ・モデルとペアリングされます。オフの場合、アンプ・モデルを変更しても、キャビネット・シミュレーションはアンプ・モデルと同期しません。



GLOBAL CAB

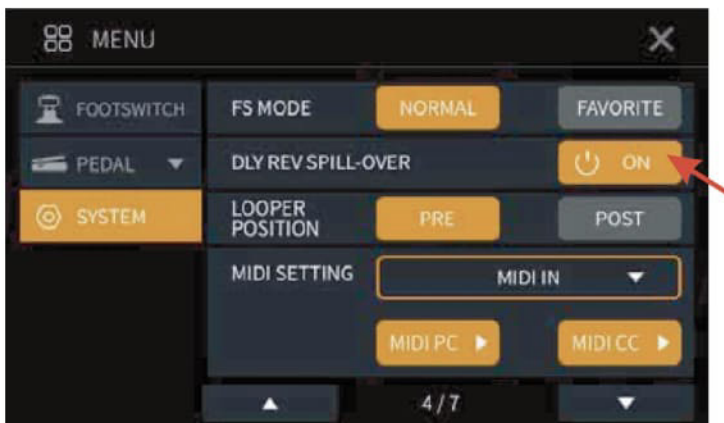
この機能はすべての出力 (OUTPUT/XLR OUT/PHONES) の信号を対象とします。左/右チャンネルの CAB SIM のオン/オフを決定できません。ハイライトされている場合、現在のチャンネルがCAB SIMを通過することを意味し、そうでない場合、現在のチャンネルはCAB SIMをバイパスします。



注釈:左チャンネルと右チャンネルの設定が異なる場合、CABはエフェクト・チェーンの最後に配置され、エフェクト・チェーン内で移動することはできません。

DLY REV SPILL-OVER

ディレイ/リバーブ・エフェクトのトレイル機能を設定できます。オンに設定すると、ディレイ/リバーブ・エフェクトのオン/オフ時や、ディレイ/リバーブ・エフェクトをかけた2つのプリセットを切り替えた時に、プリセットの音色が自然にフェードアウトします。



注釈

- 1.ディレイ/リバーブを使った2つのプリセット・パッチを切り替える場合、最良の結果を得るためには、それらのディレイ/エフェクト・モジュールのパラメーター設定が極端に異なるようにする必要があります。
- 2.2つのプリセット・パッチのディレイ/リバーブ・タイプが異なる場合、これらのプリセットを切り替えても、プリセット・トーンのトレイルは自然にフェードアウトしません。

システム

LOOPER POSITION ルーバー・モジュールの位置を設定します。

PRE: プリモード。ルーバーはエフェクト・チェーンの最初のモジュールとして配置されます。ルーバーはドライ信号を直接録音します。エフェクト・チェーンのパラメーターを調整することで、結果を変更できます。

POST: ポスト・モード。ルーバーはエフェクト・チェーンの最後に配置されます。ルーバーは、従来のルーバーのように、エフェクト・チェーンで処理された信号を録音します。デフォルトではPOSTに設定されています。



USB AUDIO

FX150は、24ビット44.1kHzオーディオ・インターフェースとして動作し、低レイテンシーのレコーディングが可能です。WindowsとMacOSプラットフォームのほとんどのDAWで動作します。

Windowsユーザーは、直接録画/モニターするためのASIOドライバーをインストールする必要があります。FLAMMA公式サイト www.flammainnovation.com、FX150のページよりダウンロードしてください。Macユーザーはインストールする必要はありません。

LEFT/RIGHT OUTPUT: USBオーディオ出力の左右チャンネルを設定します。
Dry: ギターから直接出力される信号 (エフェクトを含む)。FX150を経由する信号にはEFFECTS。



REC VOL 録音音量レベル。デフォルトでは50に設定されており、USBオーディオとDSP信号の音量レベルは同じです。0に設定すると、USBオーディオ出力はミュートされます。

PLAY VOL 再生音量レベル。デフォルトで50に設定されており、USBオーディオとDSP信号の音量レベルは同じで、0に設定するとDSP信号はミュートされます。

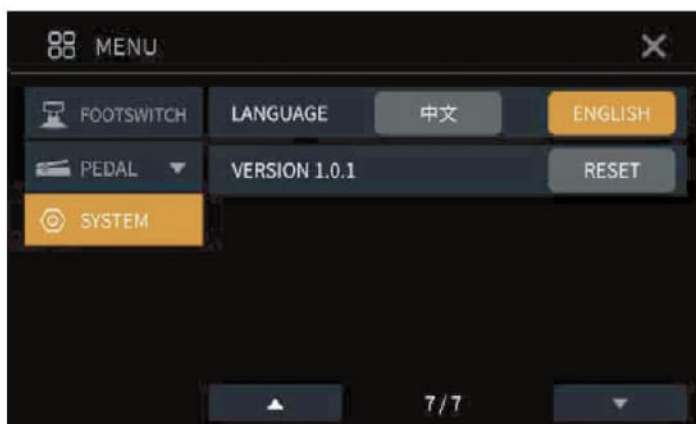
MIX ダイレクトモニタリングとUSBオーディオ再生のミックスレート。デフォルトでは50に設定されています。に設定すると、ダイレクトモニタリングとUSBオーディオ再生の音量レベルが1:1になります。0に設定すると、ダイレクトモニタリングのみ動作します。100に設定すると、USBオーディオ再生のみ動作します。



システム

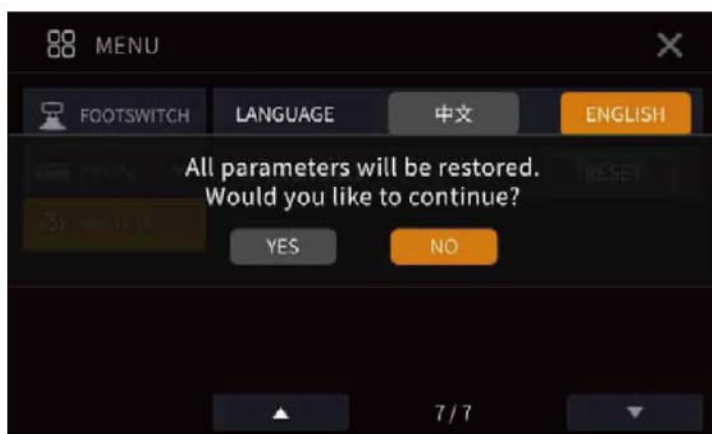
言語

表示言語は中国語と英語から選択できる。



リセット

RESETをクリックし、YESを選択してFX150を工場出荷時の設定にリセットします。リセットをキャンセルするにはNOを選択します。

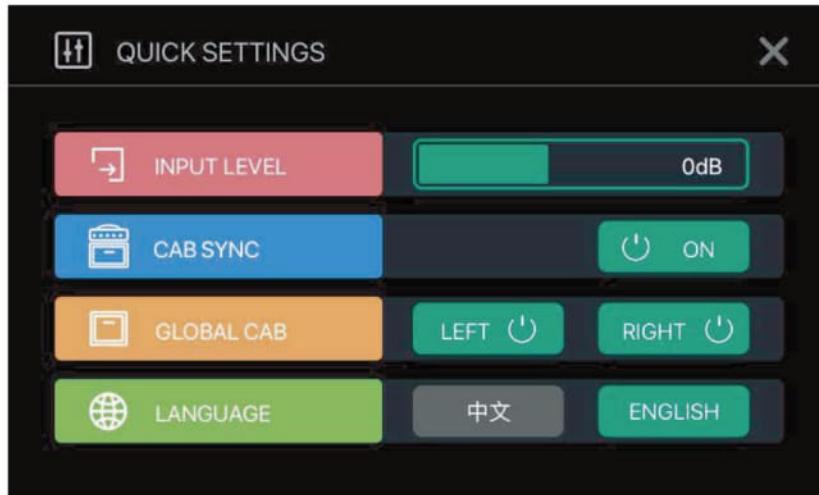


注釈

- 1.アクトリー・リセットは、すべてのユーザー・プリセット・パッチとインポートしたサードパーティ製IRファイルをクリアします。リセットの前に、コンピューターエディターソフトウェアでFX150をバックアップすることをお勧めします。
- 2.予期せぬ問題を避けるため、リセット手順中はFX150の電源を切らないでください。

クイック設定

編集ページのアイコンをクリックすると、クイック設定メニューに入ります。このメニューでは、INPUT LEVEL、CAB SYNC、GLOBAL CAB、FS MODE などのシステム設定を素早く行うことができます。

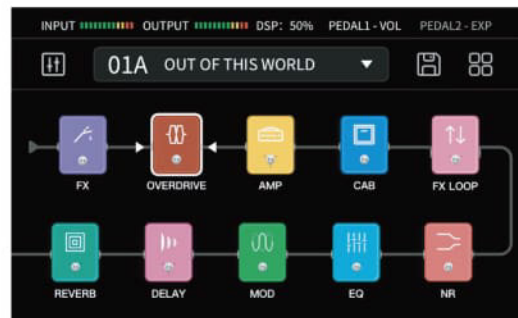


FX150B バッテリー・ディスプレイ

FX150bはFX150のバッテリー内蔵バージョンです。以下、バッテリーについての説明です

1. バッテリー寿命

FX150bの電源がオンになっていると、ホーム・ページとエフェクト・チェーン・ページの上部に、現在のバッテリー残量を示す5つのバーが表示されます。電池残量が変わるとアイコンが変わります。ホーム・ページの左上にも電池残量を示すアイコンが表示されます。



バッテリー残量が20%以下になると、バーとバッテリーアイコンが赤色に点滅し、注意を促します。



電池残量が5%以下になると、警告ウィンドウがポップアップ表示されますので、プリセット・パッチやパラメーターの消失を防ぐため、電源プラグを差し込んで充電してください。バッテリーアイコンとバーが赤色で素早く点滅します。

FX150B バッテリー・ディスプレイ

2. 充電

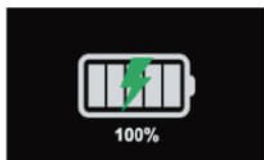
元の電源をFX150bの電源ポートに接続して充電します。

FX150bが充電中になると、バッテリーアイコンが緑色に点滅し、充電中のマークが表示されます。充電中にバッテリー残量が20%未満になると、アイコンとバーが赤色のままになります。

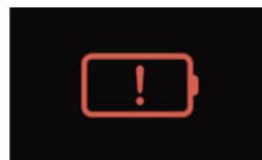


バッテリー残量が20%以上になると、バッテリーとバーが白色になり、充電が完了すると緑色になります。

FX150bの電源が切れているときは、バッテリーの状態を示すバッテリーアイコンが表示されます。これはホームページの小さなアイコンと同じで、バッテリー残量が20%未満のときは赤、20%以上のときは白になります。



充電が完了すると、
このような表示がされます。



バッテリー残量が完全になくなりそうになると、
このような表示がされます。早めに充電してください。

バッテリーが完全になくなると、FX150bの電源は自動的に切れます。電源プラグを差し込んでご使用ください。

注意事項: 本機を長期間使用しない場合は、バッテリーの消耗を防ぐため、6ヶ月ごとに本機を完全に充電することをお勧めします。

Fx150エディタソフト

Fx150では、トーン編集、プリセット管理、プリセット・バックアップ、ファームウェア・アップデート、サードパーティ製IRファイルの読み込みに、コンピューター上のエディター・ソフトウェアを使用できます。

FLAMMA公式サイト www.flammainnovation.com にログインし、FX150のページに入り、エディターソフトを入手してください。



エフェクト一覧

注意事項：すべての製品名は関連会社に帰属し、ここでは参考としてのみ使用されています。

FX		
Num	Effect Name	Description
1	CS COMP	Based on BOSS® CS-3 compressor effect
2	JR COMP	Based on Diamond® Comp Jr compressor effect
3	AUTO WAH	Automatic wah effect
4	95 CRY	Based on Dunlop® GCB 95 wah effect
5	535 CRY	Based on Dunlop® Cry Baby 535Q wah effect
6	TALK AH	Mimic the voice of "AH" wah effect
7	TALK OH	Mimic the voice of "OH" wah effect
8	DYNAMIC WAH	According to the dynamic of play to generate a wah effect automatically

OVERDRIVE		
Num	Effect Name	Description
1	SMOOTH BOOST	Based on Xotic® AC Booster
2	CLEAN BOOST	Based on Xotic® RC Booster
3	DARK RAT	Based on Pro Co® Rat distortion effect
4	GOLD BOX	Based on Klon® Centaur Gold overdrive effect
5	RIOTER	Based on Suhr® Riot distortion effect
6	SCREAMER 808	Based on Ibanez® TS808 overdrive effect
7	TUBE OD	Based on B. K. Butler® Tube Drive tube overdrive effect
8	ML ZONE	Based on BOSS® Metal Zone distortion effect
9	ML MASTER	Based on Digitech® Metal Master distortion effect
10	TIGHT GAIN	Based on Amptweaker® TightRock distortion effect
11	TIGHT METAL	Based on Amptweaker® TightMetal distortion effect
12	VX SILVERY	Based on VOX® Tube OD overdrive effect
13	DIRECT OD	Based on Barber® Direct Drive overdrive effect
14	OBSESSIVE OD	Based on Fulltone® OCD distortion effect
15	UK SHREDDER	Based on Marshall® Shred Master distortion effect
16	FULL DS	Based on Fulltone® Full-Drive 2 distortion effect
17	RED 500	Based on Fulltone® GT-500 distortion effect
18	JIMMY DRIVE	Based on Paul Cochrane® Timmy OD overdrive effect
19	BEEBEE PREAMP	Based on Xotic® BB Preamp overdrive effect
20	BEEBEE PLUS	Based on Xotic® BB Plus distortion effect
21	ROUND FUZZ	Based on Dunlop® Fuzz Face fuzz effect
22	SILVERY FUZZ	Based on EHX® Big Muff fuzz effect

NR		
Num	Effect Name	Description
1	SUPPRESSOR	ディストーション後のノイズゲート
2	REDUCER	ディストーション前のノイズゲート
3	GATE	ディストーション後のノイズゲート

EQ		
Num	Effect Name	Description
1	6 BAND EQ 1	6バンドギターイコライザー、各バンドは±12dBのゲインを提供します。
2	6 BAND EQ 2	6バンドギターイコライザー、各バンドは±12dBのゲインを提供します。
3	6 BAND EQ 3	6バンドギターイコライザー、各バンドは±12dBのゲインを提供します。
4	4 BAND CUSTOM	4バンド・カスタマイズ・イコライザー、各バンドは±12dBのゲイン。

AMP		
Num	Effect Name	Description
1	US 65 DR	Based on Fender® 65 Deluxe Reverb preamp section
2	US 65 TR	Based on Fender® 65 Twin Reverb preamp section
3	59 BASSGUY	Based on Fender® 59 Bassman preamp section
4	GALAXY 50 CL	Based on Supro® Galaxy Combo channel 1
5	GALAXY 50 OD A	Based on Supro® Galaxy Combo channel 2 (Boost on)
6	GALAXY 50 OD B	Based on Supro® Galaxy Combo channel 2 (Boost off)
7	UK COMBO CL	Based on Vox® AC30 clean channel
8	UK COMBO OD	Based on Vox® AC30 overdrive channel
9	BRIT J45 CL	Based on Marshall® JTM 45 clean tone
10	BRIT J45 DS	Based on Marshall® JTM 45 overdrive tone
11	BRIT J800	Based on Marshall® JCM 800 preamp section
12	BRIT J900 CL	Based on Marshall® JCM 900 clean tone
13	BRIT J900 DS	Based on Marshall® JCM 900 distortion tone
14	BRIT J410 CL	Based on Marshall® JVM 410 clean channel
15	BRIT J410 DS	Based on Marshall® JVM 410 distortion channel
16	BRIT PLEXI	Based on Marshall® Plexi 100 preamp section
17	BRIT M9004 CL	Based on Marshall® MGP 9004 Rack preamp clean tone
18	BRIT M9004 CR	Based on Marshall® MGP 9004 Rack preamp Crunch tone
19	BRIT M9004 DS	Based on Marshall® MGP 9004 Rack preamp distortion tone
20	FRYMAN 50 CL	Based on Friedman® BE50 clean tone
21	FRYMAN 50 CR	Based on Friedman® BE50 Crunch tone
22	FRYMAN 50 DS	Based on Friedman® BE50 distortion tone
23	FRYMAN 100 CL	Based on Friedman® BE100 clean tone
24	FRYMAN 100 OD	Based on Friedman® BE100 Crunch tone
25	FRYMAN 100 DS	Based on Friedman® BE100 distortion tone
26	ARCHEAN 100 CL	Based on Paul Reed Smith® Archon 100 clean channel
27	ARCHEAN 100 DS	Based on Paul Reed Smith® Archon 100 Lead channel
28	CITRUS 100 CL	Based on Orange® TH100 clean channel
29	CITRUS 100 DS	Based on Orange® TH100 distortion channel
30	CUSTOM 100 CL	Based on Custom Audio Amplifiers® OD100 clean tone
31	CUSTOM 100 DS	Based on Custom Audio Amplifiers® OD100 distortion tone
32	US CLASSIC CL	Based on Peavey® Classic 50 clean channel
33	US CLASSIC DS	Based on Peavey® Classic 50 distortion channel
34	5153 GREEN	Based on EVH® 5150 III clean channel
35	5153 BLUE	Based on EVH® 5150 III Crunch channel
36	5153 RED	Based on EVH® 5150 III distortion channel
37	OLO 100 DS A	Based on Soldano® SLO 100 Crunch channel
38	SOLO 100 DS B	Based on Soldano® SLO 100 distortion channel
39	CALI TEXAS CL	Based on Mesa Boogie® Lone Star channel 1
40	CALI TEXAS OD	Based on Mesa Boogie® Lone Star channel 2
41	CALI REC CL	Based on Mesa Boogie® Triple Rectifier clean channel
42	CALI REC DS	Based on Mesa Boogie® Triple Rectifier distortion channel
43	CALI V CR	Based on Mesa Boogie® Mark V Crunch tone
44	CALI V DS	Based on Mesa Boogie® Mark V distortion tone
45	SHIVANI CL	Based on Bogner® Shiva clean channel
46	SHIVANI OD	Based on Bogner® Shiva distortion channel
47	ECSTATIC GREEN	Based on Bogner® Ecstasy clean channel
48	ECSTATIC BLUE	Based on Bogner® Ecstasy Crunch channel
49	ECSTATIC RED	Based on Bogner® Ecstasy distortion channel
50	ERBART CH2	Based on Diezel® Herbert channel 2
51	HERBART CH3	Based on Diezel® Herbert channel 3
52	DIZZY V4 CL	Based on Diezel® VH4 clean tone
53	DIZZY V4 CR	Based on Diezel® VH4 Crunch tone
54	DIZZY V4 DS	Based on Diezel® VH4 distortion tone
55	SEVERE DS A	Based on ENGL® Savage 120 Mark II Crunch channel
56	SEVERE DS B	Based on ENGL® Savage 120 Mark II Lead channel
57	POWER DS A	Based on ENGL® Powerball Crunch channel
58	POWER DS B	Based on ENGL® Powerball Lead channel

エフェクト一覧

注意事項：すべての製品名は関連会社に帰属し、ここでは参考としてのみ使用されています。

CAB		
Num	Effect Name	Description
1	65 DR 112	Based on Fender® 65 Deluxe Reverb 112 cabinet
2	65 TR 112	Based on Fender® 65 Twin Reverb 212 cabinet
3	BASSGUY 410	Based on Fender® 59 Bassman 410 cabinet
4	GALAXY 112	Based on Supro® Galaxy Combo 112 cabinet
5	COMBO 212	Based on Vox® AC30 212 cabinet
6	1936 212	Based on Marshall® 1936 212 cabinet
7	1960 412 A	Based on Marshall® 1960A 412 cabinet
8	1960 412 B	Based on Marshall® 1960B 412 cabinet
9	FRYMAN 112	Based on Friedman® Small Box 112 cabinet
10	FRYMAN 412	Based on Friedman® 412 cabinet
11	ARCHEAN 212	Based on Paul Reed Smith® Archon 212 cabinet
12	ARCHEAN 412	Based on Paul Reed Smith® Closed Back 412 cabinet
13	CITRUS 112	Based on Orange® PPC 112 cabinet
14	CITRUS 212	Based on Orange® PPC 212 cabinet
15	CITRUS 412	Based on Orange® PPC 412 cabinet
16	CUSTOM 412	Based on Custom Audio Amplifiers® 412 cabinet
17	US CLASSIC 212	Based on Peavey® Classic 50 212 cabinet
18	5153 412 A	Based on EVH® 5150III® 412 cabinet
19	5153 412 B	Based on EVH® 5150III® S EL34 412 cabinet
20	SOLO 412	Based on Soldano® Slant Classic 412 cabinet
21	CALI TEXAS 212	Based on Mesa Boogie® Lone Star 212 cabinet
22	CALI REC 412 A	Based on Mesa Boogie® Rectifier® STD OS Straight 412 cabinet
23	ACALI REC 412 B	Based on Mesa Boogie® Rectifier® STD OS Slant 412 cabinet
24	CALI V 412	Based on Mesa Boogie® Rectifier® Traditional Slant 412 cabinet
25	BOGNAR 412 A	Based on Bogner® SL 412 cabinet
26	BOGNAR 412 B	Based on Bogner® ST 412 cabinet
27	DIZZY 412 A	Based on Diezel® Rear-Loaded G12 412 cabinet
28	DIZZY 412 B	Based on Diezel® Rear-Loaded V30 412 cabinet
29	SEVERE 412	Based on ENGL® E412VSB 412 cabinet
30	POWER 412	Based on ENGL® E412XXL 412 cabinet
31-80	EMPTY	ワードバーディ製旧ファイルをコンピューター上のエディターソフトで読み込む場合。

MOD		
Num	Effect Name	Description
1	70S CHORUS	クラシックなアナログ・コーラス・エフェクト
2	TRI CHORUS	高音コーラス効果
3	ANA FLANGER	標準的なアナログ・フランジャー・エフェクト
4	JET FLANGER	ジェット・フランジャー効果
5	70S PHASER	標準的なサイン波フェイザー・エフェクト
6	STEP PHASER	矩形波フェイザー・エフェクトがベース
7	HI-CUT PHASER	高周波カット・フェイザー・エフェクト
8	PITCH VIBRATO	標準的なピブラート・エフェクト
9	VIBE ROTARY	パイプ・ロータリー効果を模倣
10	TREMOLO	クラシック・トレモロ・エフェクト
11	STAMMER	矩形波シャッター効果に基づく
12	DETUNE	ピッチシフター効果に基づく
13	RING	リング音変調効果
14	LOFI	低サンプリングレート効果
15	SLOW GEAR	スローアタック効果
16	BAND-PASS	バンドパスフィルター効果
17	LOW-CUT	低域カットフィルター効果
18	HI-CUT	高周波カットフィルター効果
19	PITCH MONO	モノ・ピッチ・シフター・エフェクト
20	PITCH POLY	ポリフォニック・ピッチシフター・エフェクト

DELAY		
Num	Effect Name	Description
1	ANALOG	暖かくソフトなアナログ・ディレイ・エフェクト
2	REAL	リアル・エコー・ディレイ・エフェクト
3	TAPE	テープ・ディレイ効果
4	DIGITAL	標準的なデジタル・ディレイ・エフェクト
5	PINGPONG	ステレオライクなピンポン・ディレイ・エフェクト
6	MOD	変調によるデジタル・ディレイ
7	REVERSE	リバーブ効果
8	DYNAMIC	楽器のダイナミクスに反応するデジタル・ディレイ
9	DUAL	独立コントロールの2ディレイ

REVERB		
Num	Effect Name	Description
1	SPRING	クラシック・スプリング・リバーブ・タンク
2	ROOM	スモールルーム・リバーブ
3	HALL	ラージ・ルーム・リバーブ
4	CHURCH	巨大なルーム・リバーブ
5	PLATE	スタジオスタイルのプレート・リバーブ
6	CAVE	広々とした雰囲気のリバーブ
7	MOD	モジュレーション付きリバーブ

ファームウェアアップデート

FX150のファームウェアをアップデートするために、FLAMMA公式ウェブサイトからFX150エディターソフトウェアのテストバージョンをダウンロードすることができます。アップデートの手順は以下の通りです

- 1.FX150エディターソフトウェアの最新バージョンをダウンロードします。
- 2.ファイルを解凍してインストールしてください。旧バージョンをインストールしている場合は、新バージョンのインストール先が旧バージョンと同じであることを確認してください。
- 3.インストールが完了したら、USBケーブルでFX150をコンピューターに接続します。
- 4.VALUEを長押しし、電源スイッチを押してFX150の電源を入れます。FX150がアップデートモードで起動するのがわかります。
- 5.FX150エディターソフトを開き、STARTをクリックしてアップデートを確認します。
- 6.ロードに数秒待つ。
- 7.アップデートが完了すると、FX150は自動的に再起動します。その後、コンピューターに接続し、バックアップファイルをエクスポートすることができます。

注釈

- 1.アップデートを行ってもFX150のファームウェアのバージョンが変わらない場合は、新しいバージョンのFX150エディタが正常にインストールされているかどうかを確認してください。まだ古いエディターソフトのままであれば、エディターソフトを完全にアンインストールしてから、新バージョンのアップデートソフトをインストールしてみることをお勧めします。
- 2.予期せぬ問題を避けるため、アップデート中に電源を切ったり、アップデートを中断したりしないでください。